

愛媛県立大洲農業高等学校 人権委員会 2024.12.20. 発行

大洲隣保館人権セミナー 木元 健 先生 講演会 演題「人権保障のために」～子どもの人権など～ 8月1日(木) 大洲市大洲隣保館にて

古くから行われてきたことや、当たり前と思われていることに対して、それが本当に正しいのかを考え、見つめ直す視点が大切だと気付かされました。

差別のない社会を実現するために、正しく理解し、自分自身で考え、行動することが必要だと学びました。



大洲市人権学習フィールドワーク 8月2日(金) 大洲市にて

大洲市主催の人権学習フィールドワークに人権委員5名が参加しました。大洲高校、長浜高校の生徒も参加していました。法華寺(水俣病の原因を突き止め、診察において患者さんが差別を受けないように改善した細川一氏の墓所)、ハンセン病患者にも平等に接した盤珪永琢(ばんけいようたく)和尚の如法寺などを訪れました。そのほか、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点である大洲福祉会館、葦草刑場跡、中江藤樹像を訪れました。

今回のフィールドワークで、人権に関わる色々な土地をまわり、差別や人権問題について学ぶことができました。人権について今後も周りのみんなと一緒に考え、より意識的に行動して行きたいと思います。



大洲市高校生人権研修会 8月24日(土)～25日(日) 徳島県にて

大洲高校、長浜高校、三崎高校の生徒と共に大洲市高校生人権研修会を徳島県で実施しました。本校からは生徒3名が参加しました。一日目は、愛媛県友の集いがあり、この集いでは、徳島県の被差別部落出身の方からお話を聞きました。実際に部落差別を受けた経験を話してくだり、そのお話の中で、差別を乗り越えていくためには、仲間との協力がとても力になるという言葉が印象に残っています。

二日目は、むつみ会館を訪問し、辻本一英(つじもとかずひで)氏から「阿波木偶(でこ)箱まわし」の講話を聴きました。「阿波木偶箱まわし」とは、人形浄瑠璃のことで、第二次世界大戦後はほとんど行われなくなり、現在では消えつつあります。その理由の一つに、部落差別があります。箱まわしを行っていたのは、被差別部落の人々でした。箱まわし芸人は、子供や孫が結婚や就職で差別されるのであれば、廃業しようと、木偶人形を封印したそうです。



大洲農業高等学校 人権教育集会 12月17日(火) 本校体育館にて

人権教育集会が本校体育館で行われました。本校生徒の人権作品の表彰や受賞者の人権ポスター、人権標語の紹介が行われ、人権委員会が今年度の取り組みを報告しました。

